

新中津市学校

中津市長 奥塚 正典

明治 4 年に設立された「中津市学校」。福澤諭吉などの尽力により中津の好学の士に世に出る機会を与えてくれました。洋学校、授業が英語で行われたそうです。明治初期にすごいことです。それほどまで中津には教育熱心な土壌があり、先達が故郷を思い後輩育成に力を注いだわけです。

さて、閉館した旧歴史民俗資料館は、建物が国の登録文化財で保存せねばならず後利用が課題でした。ここが中津市学校初代校長であり慶應義塾第 3 代塾長、小幡篤次郎氏生誕の地であることから、耐震化工事を施して『新中津市学校』と命名、市民の学習・交流施設として生まれ変わりました。

8 月 3 日のオープニング式典には、慶應義塾の長谷山塾長に出席いただき、市内 4 校の高校生と慶應義塾 3 教授のパネルディスカッション、そして塾長・市長対談を行いました。福澤先生が育った中津市、これまで以上に慶應義塾との連携を強化し、「学びたい教育のまち中津」を推進します。

アーカイブズ講座はもちろん、慶應義塾の教授による市民講座を定期的に開設します。また、慶應義塾が所蔵する先生の直筆書簡など福澤資料を共同利用し、新中津市学校の所蔵庫にも一部保管します。既に今年 4 月から慶應関係のスタッフを学芸員として採用しており、共同研究はこれからが本番です。こうして、「福澤のふる里中津」の認知度を高め全国へ情報発信します。

令和の時代に生まれた『新中津市学校』。長谷山塾長の言葉をお借りすれば「伝統を守りながら革新を続ける」市民皆さんの学びの場です。情報化・国際化の時代、Wi-Fi 環境も整えています。小中高校生は勉強の場、大人は生涯学習の場、ビジネスパーソンが仕事に生かす場、そして、講演会など市民交流の場です。



新時代の「学問のすゝめ」、独立自尊の人材が中津でどんどん育ちますように。